



季刊 深緑号
May 2011

Vol.86



富士OGMゴルフクラブ出島コース

このたびの東日本大震災により被災されました皆さまには心からお見舞い申し上げます。
被災地の一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

日本学生ゴルフ連盟 会長 松本 富夫
関東学生ゴルフ連盟 会長 中島 敬夫
日本・関東連盟加盟各大学部員一同

ボールの進化は止まらない。

NEW Z-STAR

新登場。

SRIXON

1

SRIXON®

スリクソンはもっと飛ばせる。
もっとコントロールできる。



飛び、スピinn、ソフトフィーリングの
ベストバランス Z-STAR
飛びに磨きをかけた
Z-STAR XV

●詳しくは <http://golf.dunlop.co.jp/>へ。●トーナメント等に関しては <http://golfpark.jp/> ●商品のお問い合わせ 0120-65-3045

“あなたのゴルフをもっと楽しくする。” 情報満載の会員サイト G-ATTEND(ジーアテンド) <http://www.g-attend.jp/> SRIスポーツ株式会社

《目 次》

巻頭言 復興に向けて力強く

●関東学生ゴルフ連盟 会長 中島敬夫	2
平成 23 年度関東学生ゴルフ連盟役員の豊富	3 ~ 4
平成 23 年度関東学生ゴルフ連盟役員一覧	5 ~ 8
学校紹介 我がゴルフ部 ●大東文化大学	9
マスターズトーナメントスペシャルレポート	10
松山英樹君 マスターズトーナメントで 日本人初のベストアマに輝く快挙	
平成 23 年度日本学生ゴルフ連盟 / 関東学生ゴルフ連盟主催・後援競技日程	12 ~ 13
2010 年度 JGA アカデミック・ゴルフ・アワード受賞結果及び受賞作品	14 ~ 17
平成 22 年度日本学生ゴルフ連盟理事会議事録	19 ~ 21
平成 22 年度第 3 回関東学生ゴルフ連盟理事会議事録	22 ~ 24
平成 23 年度関東学生ゴルフ連盟臨時理事会議事録	25 ~ 26
KSGA TOPICS ●ゴルフ場の珍風景三題	26
加盟校便り ●法政大学 女子チーム大健闘	27
編集後記	28

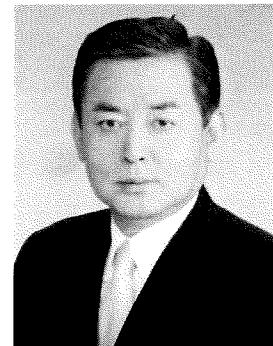
《富士 OGM ゴルフクラブ出島コース》

茨城県・霞ヶ浦の湖にほど近い富士 OGM ゴルフクラブ出島コースは昭和 63 年 9 月の開場である。18 ホールのチャンピオンシップコース(全長 7,072 ヤード=パー 72)を擁する会員制のゴルフ場だ。ここの天然スレート葺き屋根のクラブハウスは、殿堂を思わせるようなどっしり感があり、建築美、つまり線の美しさを感じてくれる。ハウスは威風堂々、だがゴルファーを温かく迎えてくれる。このゴルフ場では過去、プロゴルフトーナメントのダンロップレディースや日経カップ「中村寅吉メモリアル」などのビッグイベントが開催された。米国のプロゴルファー、ラリー・ネルソンと設計家・富沢廣親両氏の共同設計によって完成したコースは高い戦略性が求められる。平成 7 年から同 10 年の 4 年間、ここで日経カップのホスト役を務めた中村寅吉さんは生前、「一見、易しそうなコースだが、容易に攻略できそうにもない難しさが潜んでいるゴルフ場のようだ」と評していた。

最近、クラブハウスを囲む周辺の池に覗が発生して話題になった。覗は近くの霞ヶ浦の湖から侵入したのではないか、と見られているが、真相は「?」。ゴルフ場の周辺は茨城県有数の穀倉地帯で、美味しいお米の産地でもある。

所在地：〒 300-0204 茨城県かすみがうら市下軽部 881
電話：029-896-1011

復興に向けて力強く



関東学生ゴルフ連盟
会長 中島 敬夫

3月11日に発生した東日本大震災により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。1日も早い復旧を心より祈念いたします。

地震発生時、突然の強い揺れにかつて経験したことのない恐怖を感じましたが、それ以上にテレビや新聞で被災地の様子を見る度、何も言葉がせず、ただただ悲惨な光景が目の前に広がっていました。

連盟に加盟している東北5大学（東北学院大学、東北福祉大学、東北大大学、富士大学、東日本国際大学）のゴルフ部員の皆さん全員無事とのことで安堵いたしましたが、実家が津波被害にあった者、避難生活を余儀なくされている親類がいる者などまだ予断を許さない状況が続いています。地震だけでなく、福島原発事故も大変気になるところです。

先般行われた臨時理事会において、6月中旬までの競技会開催の中止、延期が決定しました。また関東学生ゴルフ選手権予選会、関東女子学生ゴルフ選手権予選会は会場を変更し、日程はそのままで開催の予定です。この決断は連盟加盟員の健康面、安全面を最優先に考えたことです。何卒ご理解、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

いまは日本国全体が停滞ムードに陥っていますが、皆さんには前途洋々たる将来があります。日々少しずつ前進し希望を信じて力強く、歩んでもらいたいと願っています。

平成23年度 関東学生ゴルフ連盟役員の豊富

2011 KSGA STAFF

本年度の役員を紹介させていただきます。1年間どうぞよろしくお願ひいたします。

3つの“心”

平成23年度 日本学生ゴルフ連盟・関東学生ゴルフ連盟 委員長
立教大学 高賢士郎



私は、平成23年度日本学生ゴルフ連盟及び関東学生ゴルフ連盟の委員長をさせて頂きます立教大学観光学部4年生の高賢士郎です。まずもって連盟加盟校の皆様に親しくご挨拶を申し上げ、併せてこの1年間ご協力賜りますよう、心からお願い申し上げます。

本年度学生連盟の男子競技は、昨年度世界アマチュアランク制度導入によって変更した団体戦の競技方法を一部戻し、再び新たな出発を迎えることになりました。これによって出場人数が減少したブロックにも1人でも多く出場でき、気持ちを一新して競技に臨んでもらえるかと思います。個人戦競技では日本学生ゴルフ選手権への出場人数が減りました。だが、それによって少数精銳によるレベルが高い競技が行われることを期待しています。女子学生においても、関東女子学生ゴルフ選手権はマッチプレーを廃止し3日間の54ホールストロークプレーとなりました。男子同様、最終日最後の一打まで頑張ってもらいたいと思います。

一方で、私達連盟に加盟している学生は、日常の部活

動以外でも努力しなければならないことが事実で、常に文武両道の精神を忘れてはなりません。この精神を忘れずにいるからこそ、今まで学生ゴルフ連盟という組織が健全に持続できていると思います。また連盟理事をはじめ、内外の多くの支援者のお力添えがあるからこそだと感じております。

私は常に“感謝する心”“尊敬する心”“思いやりの心”を持って活動をしています。“感謝する心”は私の生活を支える全ての人、学生競技のためにゴルフコースを提供くださるゴルフ場の会員や関係の方々に対して、日頃より感謝の念を忘れてはなりません。“尊敬する心”は体育会という厳しい環境に自身を置くことで、人間として自分を成長させるため、大事にしなければならないこと。“思いやりの心”は人と人との繋がりを大切にすること。この心を教えてくれたゴルフに感謝し、今年1年を全競技、全力で取り組んで行きます。最後になりましたが、連盟員の皆様と今年1年共に協力し、素晴らしい競技を行えるように努めさせて頂きます。

KSGAは学生ゴルフの応援団です

平成23年度 日本学生ゴルフ連盟・関東学生ゴルフ連盟 広報局長
慶應義塾大学 光山 貴之



私は本年度の日本学生ゴルフ及び関東学生ゴルフ両連盟の広報局長という要職を担うことになりました光山貴之です。

3月11日に発生した東日本大震災により、学生ゴルフ界にも大きな影響を受けました。しかし、この期に及んで、我々はゴルフができる有難さをもう一度考え、恵まれた環境に感謝しなければならないと思いました。今回の災害で不幸にして命を失った方々に謹んで哀悼の意を捧げ、罹災された方々の一日も早い復興を祈ります。ひたすらこの危機的状況を全力で乗り切ろうと痛感するのみです。

さて、いつの時代、どんな状況下においても我々学生を支えてくださる連盟や先輩理事の方々の存在は大きく、連盟の機関誌「KSGA」の発行に多大なるご支援をくださる協賛各社の支えは大変有難く、計り知れない強力な力であると感じています。

いま、広報局長という立場を仰せつかったことで、これまで以上に責任の重さを感じつつ、かくなる上は、学生ゴルフ界を盛り上げていけるよう、全力を尽したいと思います。学生ゴルフ連盟の活動を外部に伝える、わが機関誌「KSGA」は現在、発行号数は86に及びます。この機関誌とインターネットは学生ゴルフの活躍状況を外部に伝える唯一の手段であり、「KSGA」は競技に出場する学生諸君にとっては学生時代のゴルフ履歴書のようなものです。私は全力を挙げて編集に取り組み、よい記事、写真を探り上げてよい報道を心がけます。このメディアは学生ゴルファーの応援団であります。今まで以上に厳しい1年間を迎えることになりそうですが、学生連盟の役員として、また学生ゴルフの一員として広報活動に全力投球の覚悟です。宜しくお願い申し上げます。

『団結力』

平成 23 年度 日本学生ゴルフ連盟・関東学生ゴルフ連盟 競技委員長
中央学院大学 内藤 喜孝

私は平成 23 年度日本学生ゴルフ連盟、および、関東学生ゴルフ連盟の競技委員長を務めます。今年は競技委員長として競技会場に頻繁に足を運ぶことになります。連盟加盟員の皆様と顔を合わせる機会が増えると思います。

私は高校時代、ゴルフ部に入部し、競技ゴルファーとしての活動をスタートさせました。競技会では選手の身の回りのサポートのすべては、顧問の先生やコーチの方が、ボランティアとして協力してくださいました。しかし大学では、大人の役員方々の協力もありますが、大半は学生役員が何から何までボランティアとしてやらなくてはなりません。正直いってこうした支援活動は、とても大変な作業です。シーズン到来に臨み、学生役員が



作業を円滑に実行できるよう準備万端を整えるためにコース交渉に出向きます。

競技会は平日を開催されることが多く、授業の兼ね合いで競技委員長として現場に出向くこともあります。その場合は委員長の代行として他の学生役員が競技運営を担当します。全国規模の大会においては各地区連盟の学生役員と緊密な連絡を取り、競技が円滑に実施できるような手段を講じる積りです。学生らしいマナーの徹底を周知させるよう、団結力にものをいわせ、学生ゴルフの伝統をけがすことなく、新しい時代の学生ゴルフを確立させたいと思います。私は関東学生ゴルフ連盟委員となって 4 年目になります。経験を生かし、後輩指導にも一層力を入れて行きたいと思います。

東日本大震災で思うこと

平成 23 年度 日本学生ゴルフ連盟・関東学生ゴルフ連盟 事務局長
東洋英和女子学院大学 茂住 亜莉沙

平成 23 年度関東及び日本学生ゴルフ連盟事務局長を務めさせて頂きます東洋英和女子学院大学 4 年の茂住亜莉沙です。

3 月 11 日に起きました東日本大震災は私達の生活に大きな影響をもたらしました。被害の大きさを目の当たりにして、恐怖もさることながら、こんな時こそ人と人が支えあって危機を乗り越えていく姿勢が大切だと痛感いたしました。私たちは今まで、いつでもゴルフができるのが当たり前と思っていました。しかし、当然と思っていたことが、現実にできなくなると、改めて日頃の平和の有り難さを思い知ることになりました。何事も当たり前だと思わず、感謝の気持ちを持ち、学生の本分である学業とゴルフの両立、文武両道の精神で真摯に取り組んで参ります。



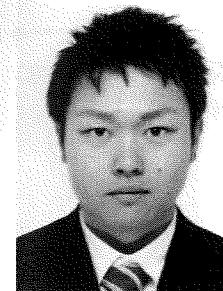
ゴルフ部で先輩方から学んだこと、学生ゴルフ連盟役員として学んだことを生かし、後輩への指導に努め、充実した日々を過ごしたいと思います。事務局長として委員長をサポートしながら、伝統と輝かしい歴史を築いた連盟の先輩方の名を汚さぬよう、精一杯努めて参りたいと思います。

私自身の目標は、残り少ない学生生活を思い切り楽しみ、悔いの残らぬよう一日一日を大切にするとともに、競技者として良い結果が残せるよう努力して参りたいと思います。

現在、学生役員の人数が少ないこともあります。今後更に皆様のご協力が必要不可欠になります。各校がそれぞれ意識を高め、学生ゴルフ連盟と共に支えていただきますよう宜しくお願い申し上げます。

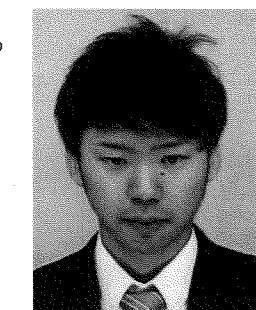
平成 23 年度関東学生ゴルフ連盟役員一覧

委員長



高 賢士郎 (立教大学)
Kenshiro Ko

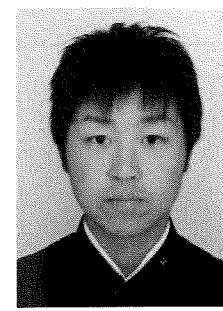
常に連盟委員を引っ張っていかれるよう努力致します。1年間よろしくお願ひいたします。



副委員長

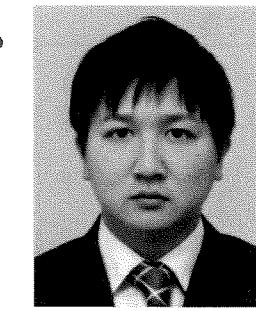
中本 裕基 (日本大学)
Hiroki Nakamoto

最上級生として頑張ります。



石川 雅人 (早稲田大学)
Masato Ishikawa

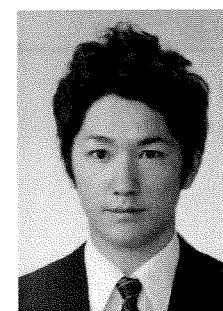
学生ゴルフのさらなる充実のため頑張ります。



競技委員長

内藤 喜孝 (中央学院大学)
Yoshitaka Naito

責任ある仕事なので精一杯やっていきたいと思います。



副競技委員長・
事業局長 (TOPY CUP)

高島 宏史 (法政大学)
Hiroshi Takashima

よろしくお願ひいたします。



副競技委員長・ 事業局長 (朝日杯・信夫杯)

丸山 将弘 (日本大学)
Masahiro Maruyama

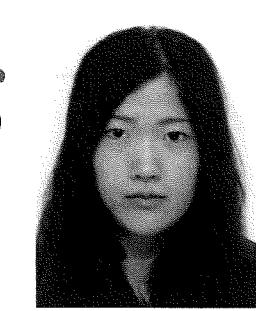
学生ゴルフを盛り上げていけるように精一杯頑張ります。



事務局長・会計局長・
総務局長

茂住 亜莉沙 (東洋英和女子学院大学)
Arisa Mozumi

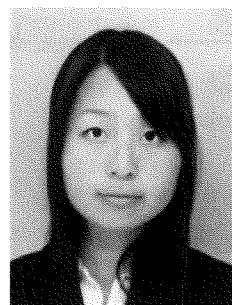
一生懸命頑張ります。



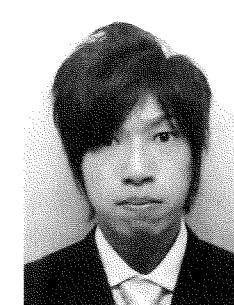
事務局次長・ 事業局次長 (TOPY CUP)

高野 沙織 (東洋英和女子学院大学)
Saori Takano

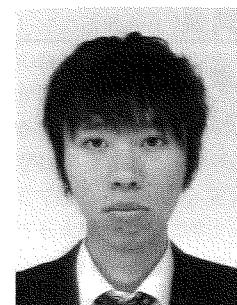
頑張りますのでよろしくお願いいたします。

**会計局次長・
総務局次長****潮田 晴子** (学習院大学)
Haruko Ushioda

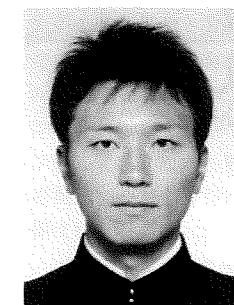
頑張ります。よろしくお願ひします。

**涉外局長****佐藤 慎太郎** (中央学院大学)
Shintaro Sato

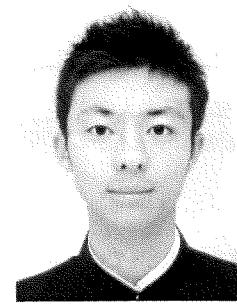
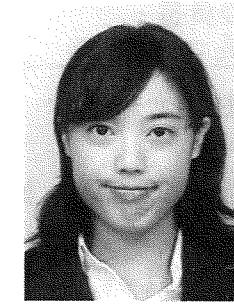
精一杯頑張ります。

**渉外局次長****駒村 和也** (大東文化大学)
Kazuya Komamura

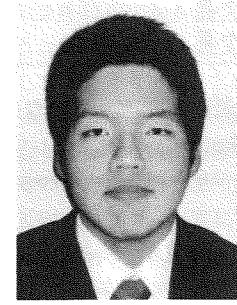
一生懸命頑張りますのでよろしくお願ひします。

**広報局長****光山 貴之** (慶應義塾大学)
Takayuki Koyama

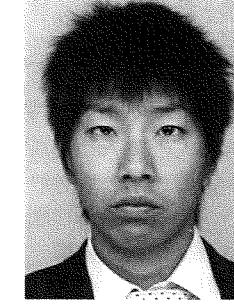
本年も円滑に運営できるよう尽力しますのでよろしくお願ひします。

**広報局次長****齊藤 大晃** (慶應義塾大学)
Hiroaki Saitoプレーも運営も頑張ります。
よろしくお願ひします。**広報局次長****田中 紗** (慶應義塾大学)
Aya Tanaka

一生懸命頑張ります。

**事業局長
(文部科学大臣杯)****豊田 伸哉** (神奈川大学)
Shinya Toyoda

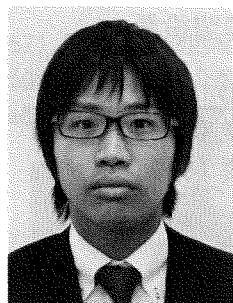
よろしくお願ひします。

**事業局長
(文部科学大臣杯)****泉森 孝紀** (神奈川大学)
Takanori Izumori

頑張ります。

**事業局次長 (TOPY CUP)****大江 真揮人** (慶應義塾大学)
Makito Oe

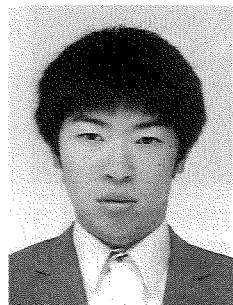
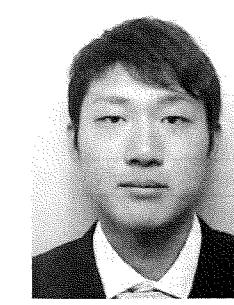
よろしくお願ひします。

**常任委員****小野 哲靖** (神奈川大学)
Noriyasu Ono

頑張ります。

**常任委員****楠 広識** (学習院大学)
Hirosato Kusunoki

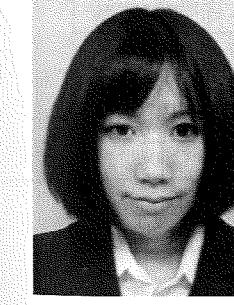
1年間頑張ります。

**常任委員****千島 直人** (大東文化大学)
Naoto Chishima与えられた仕事をしっかりと
行っていきます。よろしくお願
いします。**常任委員****松井 源太** (中央学院大学)
Genta Matsui

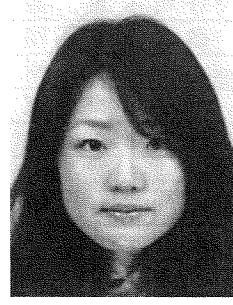
一生懸命頑張ります。

**常任委員****安木 亮善** (神奈川大学)
Fusayoshi Yasuki

よろしくお願ひします。

**常任委員****湯浅 舞姫** (立教大学)
Maki Yuasa

よろしくお願ひいたします。

**常任委員****米澤 宏美** (学習院大学)
Hiromi Yonezawa

頑張ります。

平成 23 年度 各地区学生ゴルフ連盟役員

《北海道学生ゴルフ連盟》

委員長 福地 由洋（北海道大学）
競技委員長 小沼 優翔（小樽商科大学）

《中部学生ゴルフ連盟》

委員長 井本 裕樹（愛知大学）
競技委員長 春田 傑（愛知工業大学）

《関西学生ゴルフ連盟》

委員長 寺田 愉丞（近畿大学）
競技委員長 林 俊樹（桃山学院大学）

平成 23 年度 日本学生ゴルフ連盟役員（理事）

平成23年4月1日現在

役職	名前	地区
名誉会長	近衛 通隆	関 東
会長	松本 富夫	関 東
副会長	安井 信之	中 部
副会長	塩谷 真治	関 西
副会長	鶴 素直	中 四 国
副会長	麻生 太郎	九 州
副会長	中島 敬夫	関 東
常任理事	杉浦 則男	北 海 道
常任理事	阿部 靖彦	関 東
常任理事	森岡 繁幸	関 東
常任理事	田口 豊太郎	中 部
常任理事	野村 悅	関 西
常任理事	阪田 守司	関 西
常任理事	山本 敬二	中 四 国
常任理事	高木 洋	九 州
理事	土本 ケイ子	北 海 道
理事	堀切 茂友	関 東
理事	石井 宏幸	関 東
理事	菅 真知	関 東
理事	泉 憲一	中 部
理事	十代田 光俊	中 部
理事	古賀 秀策	九 州

平成 23 年度 関東学生ゴルフ連盟役員（理事）

平成23年4月1日現在

役職	名前	大学名
名誉会長	松本 富夫	慶應義塾
会長	中島 敬夫	立 教
常任理事 (競技専任)	阿部 靖彦	東北福祉
常任理事 (競技専任)	森岡 繁幸	成 城
常任理事	石井 宏幸	学 習 院
常任理事	菅 真知	立 教
常任理事	堀切 茂友	早 稲 田
理事	角田 茂	日本女子
理事	勝又 正浩	慶應義塾
理事	岸 猛 弘	早 稲 田
理事	木下 幸一	慶應義塾
理事	久保田 恵造	法 政
理事	黒須 一雄	中 央
理事	嶋谷 誠司	神 奈 川
理事	新保 芳	中央学院
理事	山野井 秀男	明 治
監事	山口 高	立 教
顧問	小泉 直	立 教
顧問	富田 浩安	慶應義塾

DAITO BUNKA
UNIVERSITY

大東文化大学体育連合会ゴルフ部

所在地：

〈板橋キャンパス〉〒175-8571 東京都板橋区高島平1-9-1 ☎ 03-5399-7349

〈東松山キャンパス〉〒355-8501 埼玉県東松山市岩殿560 ☎ 0493-31-1508

〈URL〉 <http://www.daito.ac.jp/>



「漢学（特に儒教）を中心として東洋の文化を教授・研究することを通じて、その振興を図るとともに儒教に基づく道義の確立を期し、さらに東洋の文化を基盤として西洋の文化を摂取吸收し、東西文化を融合して新しい文化の創造を目指す」というのが大東文化大学建学の精神である。大学の歴史は古く、1923（大正12）年に設立された大東文化学院がその前身になっている。

現在、大東文化大学は文学部、経済学部、外国語学部、法学部、国際関係学部、経営学部、環境創造学部、スポーツ・健康科学部など8学部、19学科、7大学院研究科、法科大学院で構成されていて、1万3千余人が学ぶ総合大学となっている。

スポーツの定義は、人類のみが楽しめる文化である、といわれるよう、学内におけるスポーツ熱は高く、スポーツ文化を追求する各部の活動は盛んである。

とくに陸上競技部（駅伝）は「東京箱根間往復大学駅伝競走」で勇名を馳せ、昭和50年に初優勝以来通算4度の優勝を果している。

我が大学にゴルフ部が誕生した歴史は古く、1962（昭和37）年の創部と伝えられている（ベースボールマガジン社刊・全国大学・高校後ゴルフ年鑑）。だが本格的に活動を始めたのはその10年後のことらしく、その間10年間に及ぶ下地があったためか、本格的な活動を開始した時には男子部員19人、女子部員3人の計22人という大世帯だった。しかし、ゴルフという近代スポーツに縁遠かったためか、本格派のゴルファーとのご縁が薄かった。その頃の部が指南を仰いだのは、本学内で貴重なゴルフ経験をお持ちだった故依田熊三郎文学部教授、故早崎謙次郎部長（経済学部教授）だったといわれている。その時代の練習は東松山のキャンパス内に設置したレンヂで、打ち込みという内容だった。

関東学生ゴルフ連盟傘下のもと、目立つ競技成績を紐解くと1983（昭和59）年、関東大学春季Eブロック対抗戦（東ノ宮CC）に優勝、翌60年の秋リーグ戦でも優勝という記録がある。個人では春季対抗戦で坂井英二が最優秀選手に。翌96（平成8）年にも男子Eブロックで優勝し、坂井英二が個人のベストスコアをマークするなど、チームはEからDブロック

に上がった。平成8年のことである。このように部としては地道な活動を続けているが、創部初期には知識の浅さから大失態を演じた一幕もあった。昭和49年、部として初めて関東学生ゴルフ連盟の競技に参加した際、出場者に義務付けられている目土袋の携帯を忘れ、競技失格を申し渡された苦い経験もある。

本学ゴルフ部の現有勢力は12人。大半が大学入学後にクラブを手にしている。それだけにゴルフにかける情熱は他校に負けないものがある。日常の練習は上野辰夫コーチ指導の下、毎週4回、練習場（坂戸市の若葉アーリーバードゴルフクラブ）でボールを打ち、冬季はランニングを主体に体力づくりをやる。ランニングは陸上競技部が練習に使う同じ起伏のあるコースを利用できるのは自慢の一つである。部の夢はDブロック昇格と部員を増やすこと。とくに女子部員の入部を歓迎している。女子部員に競技へ参加してもらうのが願いだ。（文・渡邊大、本間ゴルフ神田店勤務）

《大東文化大学体育連合会ゴルフ部役員》

部長	山崎 俊次	（大東文化大学外国学部教授）
監督	林 正統	（大東文化学園総務部長）
コーチ	上野 辰夫	（栃木県立宇都宮清陵高等学校）
主将	木村 智行	（栃木県立宇都宮清陵高等学校）
主務	小林 泰徳	（群馬県立館林高等学校）

《競技成績》

- 平成 22 年度関東大学秋季Eブロック対抗戦 4位
- 平成 22 年度関東大学春季Eブロック対抗戦 5位
- 平成 21 年度関東大学秋季Dブロック対抗戦 7位

松山英樹君（東北福祉大学2年） マスターズトーナメントで 日本人初のベストアマに輝く快挙

苦難の1か月 「応援してくれる人たちのため」(松山君)

松山英樹君のマスターズの戦いは大会の1か月前、3月11日から始まった。

東日本大震災が母校のある仙台、東北地方を襲ったとき、松山君は豪州のゴールドコーストで合宿中だった。そのため彼自身は被災を免れたが、仙台にいた多くの友人・知人との連絡は困難だった。代わりにTV等のメディアからは甚大な被害の模様ばかりが伝わってくる。募る焦躁感。そして、友人・知人たちが被災、または救助・復興に汗するなか、自分はこうしてゴルフをやっていていいのか、という思いが強くなった。

そうしたなか、松山君の耳に「周囲が苦境にあることを考慮して、今回のマスターズは出場を取りやめるべきでは？」といった声が届いたのだろう。帰国を前に、真剣に欠場を考えたこともあったようだ。

3月20日、成田に帰国した松山君は「これから仙台の寮に向かい、地元の様子を見てから今後を決めたいと思います」と詰めかけた報道陣に答えた。また、出迎えた同大学ゴルフ部の阿部靖彦監督も、「日本人アマチュアとして初めての歴史的なマスターズ出場なので送り出してあげたいが、いまは（ゴルフをプレーこととは）別次元の状況であることも確か」と、複雑な胸の内を口にした。

そして、仙台に戻った松山君が目にしたのは、まさに言葉を失う被災風景だった。「凄いとしか言ひようがなかった。寮までの道路はデコボコだし、寮の部屋はぐちゃぐちゃでした」

そのとき松山君の胸をどのような思いが去来したのだろう。

しかし、母校で待っていたのは彼のマスターズ出場を楽しみにするたくさんの地元の声だった。「被災者を元気づけるためにも、堂々と胸を張って

出場して欲しい」といった内容のメールやファックスが大学に多数寄せられていたのだ。

「ここまで応援されているとは思っていなかったので感動しましたし、頑張ってこようと思いました」

それまで出場することに感じていた“後ろめたさ”がすべて吹き飛んだという。

不調の練習ラウンド

だが、大会に向けての調整は当初の予定から大きく狂っていた。そのためだろう。大会の舞台、オーガスタナショナルGCでの練習ラウンドはまったくひどい内容だった。

4月2日、大学の先輩・池田勇太と初めてラウンドしたのだが、なんとバーディなしの80台のスコア。硬く速いグリーンにまったく対応できなかつた。翌3日は初めてバーディを奪うことができたものの、スコアは70台後半。続く4日も同じようなスコア。まったく調子の上がらない松山君に、阿部監督は翌5日の練習ラウンドを止めることを指導するほどだった。

それでも、オーガスタナショナルの女神は一向に微笑まなかった。大会前日、最後の練習ラウンドも80台と惨憺たる内容に終わった。

しかし、彼には強い決意があった。それは4日に行われた公式会見の挨拶の中にも込められていた。

「被災しながらも応援してくれる大学関係者やゴルフ部の友人、両親が後押ししてくれたので出場を決意しました。夢であったマスターズ出場は、自分を励ましてくれる皆の夢でもあると思います。自分はアマチュアなので、（被災者に）勇気を与えることは難しいかもしれないけど、一生懸命頑張っている姿を見せられればいいと思います」

自分のみならず、応援してくれる人たちのため

にプレー。阿部監督からも「楽しんでプレーしろ。むすっとした顔したらブッ飛ばすぞ。仙台の人たちもそれを期待しているんだから」といま一度、活を入れられていた。

万雷の拍手歓声鳴りやまず

こうした姿勢が実ったのだろうか。松山君は第1ラウンドは4バーディ、4ボギーのパープレー、31位タイでラウンド。上々のスタートを切ることができた。

2日目。さらにリラックスした様子で、しばしば笑顔も見られた。「予選通過は無理だと思っていたので、緊張はしませんでした」

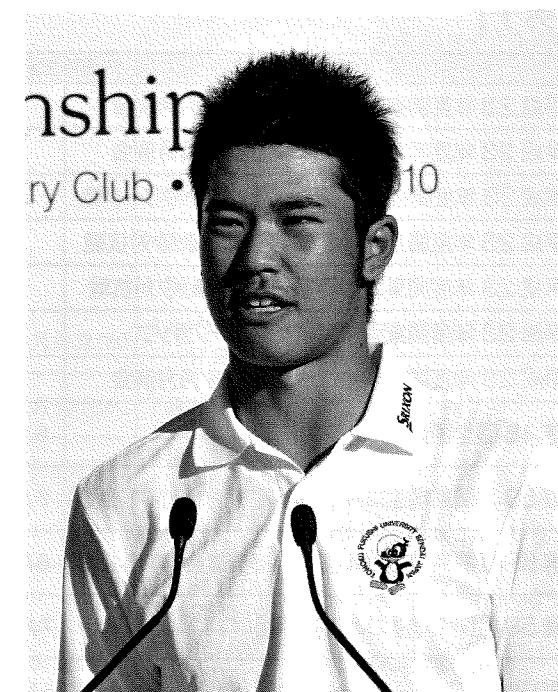
だが、結果は3バーディ、4ボギーの73。合計1オーバーで43位タイ（44位タイまでが3日目に進める）。ギリギリのところでカットを逃れた。

しかし、36ホールカットを通過したアマチュアは松山君たった一人。この時点で、（残る36ホールをプレーすれば）松山君のベストアマチュアの栄冠を手中にすることが決まる。

これでプレッシャーから解かれたのだろう。3日目はそれまでにない素晴らしいプレーの連続。なかでも16番パー3では、ティショットがホールの10センチ手前に落ち、あわやホールインワン。ホールを幾重にも取り囲むパトロンたちから盛大な拍手歓声を浴びることになった。

この日は5バーディ、1ボギーの68。順位も、来年の出場権獲得（16位タイまで）が目の前の18位タイまで上がり、2度目の記者会見に呼ばれることになった。そこでベストアマチュア決定について感想を聞かれると、「それは嬉しいですが、明日も良いスコアを出してシルバーカップ（同賞のトロフィー）をもらいたい」としっかりと口調で答えた。

最終日は初めて見せる、入りの激しい安定感の欠くゴルフとなった。前半を3バーディ、3ボギーで回るも、後半はボギーが先行。10番、11番とボギー（9番から3連続ボギー）。前日スーパーショットの16番でも1つスコアを落とし、通算3オーバー。彼のスイングからは明らかな疲れが見てとれた。



だが、迎えた最終18番。松山君は2打目をホール奥、約3メートルに付けると、それを見事にワンパットで沈めた（通算2オーバー、27位タイで競技終了）。「18番グリーンでは、そこで迎えてくれるお客様のためを思ってプレーしなさい」というのが、4歳のときからゴルフを指導してくれた父親の教えだったのだ。

松山君のバーディに、大勢のパトロンからはこれまで以上の拍手歓声が巻き起こった。シルバーカップに値するゴルファーであることをパトロンたちも認めたのだろう。

その万雷の拍手歓声が再び松山君を寄せられたのは、同じ18番グリーンで行われた表彰式での彼の挨拶の後だった。

「今回、マスターズに出場する機会を与えて下さったオーガスタナショナルの皆様、ありがとうございます。被災地はまだ大変な状況ですが、喜びと希望を少しでも与えられたと思います」

再び彼を讃えるスタンディングオーベーションはなかなか終わらなかった。その中で松山君は日本人のアマチュアらしく、照れたような笑顔を浮かべながら、なんどもお辞儀をするのだった。

（小関 洋一・ゴルフライター）

【男子】

競技会名称	エントリー締切日	指定練習日	試合日	開催コース	平成 23 年 4 月 9 日現在
平成 23 年度関東学生ゴルフ連盟 4 月月例会			開催中止		
平成 23 年度関東学生ゴルフ連盟 5 月月例会			開催中止		
平成 23 年度関東大学春季 A・B ブロックリーグ戦			開催中止		
平成 23 年度関東大学春季 C・D ブロック対抗戦			開催中止		
平成 23 年度関東大学春季 E・F ブロック対抗戦			開催中止		
平成 23 年度関東大学対抗チャレンジカップ			開催延期 *		
平成 23 年度関東学生ゴルフ連盟 6 月月例会			開催中止		
第 48 回全国大学ゴルフ対抗戦	6 月 1 日(水)	6 月 15 日(水)	6 月 16 日(木) ～ 17 日(金)	オークウッドゴルフクラブ (北海道)	
第 59 回関東学生ゴルフ選手権予選会(第 1 会場)	6 月 6 日(月)	6 月 20 日(月)	6 月 21 日(火) ～ 22 日(水)	房総カントリークラブ	
第 59 回関東学生ゴルフ選手権予選会(第 2 会場)	6 月 8 日(水)	6 月 22 日(水)	6 月 23 日(木) ～ 24 日(金)	ウッドストックカントリークラブ	
第 59 回関東学生ゴルフ選手権	7 月 15 日(金)	8 月 第 1 週	8 月 9 日(火) ～ 12 日(金)	鷹之台カンツリー倶楽部	
2011 ユニバーシアード(中国・深圳)	6 月 20 日(月)	—	8 月 17 日(水) ～ 20 日(土)	ミッションヒルズゴルフクラブ	
2011 年度(第 65 回)日本学生ゴルフ選手権競技	8 月 15 日(月)	—	8 月 23 日(火) ～ 26 日(金)	スリーレイクスカントリークラブ	
平成 23 年度関東大学秋季 E・F ブロック対抗戦	8 月 15 日(月)	8 月 29 日(月)	8 月 30 日(火) ～ 31 日(水)	サザンヤードカントリークラブ	
平成 23 年度関東大学秋季 C・D ブロック対抗戦	8 月 17 日(水)	8 月 31 日(水)	9 月 1 日(木) ～ 2 日(金)	茨城ロイヤルカントリー倶楽部	
2011 TOPY CUP 日米大学対抗ゴルフ選手権	—	9 月 5 日(月)	9 月 6 日(火) ～ 8 日(木)	棚倉田舎倶楽部	
平成 23 年度関東学生ゴルフ連盟 9 月月例会	8 月 25 日(木)	9 月 8 日(木)	9 月 9 日(金)	新・ユアイゴルフクラブ	
平成 23 年度関東大学秋季 A・B ブロック対抗戦	8 月 31 日(水)	9 月 14 日(水)	9 月 15 日(木) ～ 16 日(金)	茨城ロイヤルカントリー倶楽部	
第 58 回朝日杯争奪日本学生ゴルフ選手権関東地区予選会	9 月 13 日(火)	9 月 27 日(火)	9 月 28 日(水) ～ 29 日(木)	烏山城カントリークラブ	
平成 23 年度関東学生ゴルフ連盟 10 月月例会	9 月 29 日(木)	10 月 13 日(木)	10 月 14 日(金)	フレンドシップカントリークラブ	
第 55 回信夫杯争奪日本大学ゴルフ対抗戦	10 月 7 日(金)	10 月 24 日(月)	10 月 25 日(火) ～ 26 日(水)	千葉カントリークラブ ・梅郷コース	
第 58 回朝日杯争奪日本学生ゴルフ選手権	10 月 7 日(金)	10 月 24 日(月)	10 月 27 日(木) ～ 28 日(金)	千葉カントリークラブ ・梅郷コース	
平成 23 年度関東学生ゴルフ連盟 11 月月例会	10 月 18 日(火)	11 月 1 日(火)	11 月 2 日(水)	新・ユアイゴルフクラブ	
第 49 回会長杯争奪関東学生ゴルフ選手権	10 月 31 日(月)	11 月 14 日(月)	11 月 15 日(火)	静ヒルズカントリークラブ	
文部科学大臣杯争奪第 4 回全日本大学・高等学校ゴルフ対抗戦	11 月 4 日(金)	11 月 21 日(月)	11 月 22 日(火) ～ 23 日(水・祝)	未定(関西地区開催予定)	

※ 競技日程、競技会場は変更する場合があります。変更があった場合にはその都度ご連絡いたします。

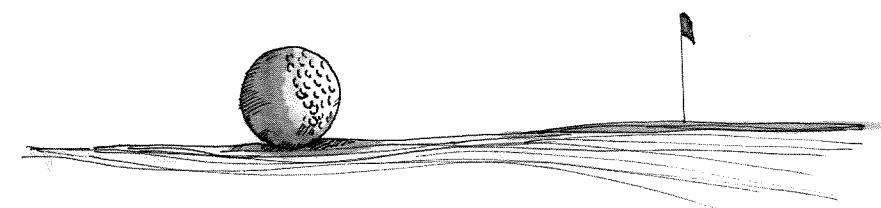
関東学生ゴルフ連盟 平成 23 年度競技委員長 内藤喜孝(中央学院大学)

【女子】

競技会名称	エントリー締切日	指定練習日	試合日	開催コース	平成 23 年 4 月 9 日現在
平成 23 年度関東学生ゴルフ連盟 4 月月例会			開催中止		
平成 23 年度関東学生ゴルフ連盟 5 月月例会			開催中止		
平成 23 年度関東女子大学春季 A・B・C ブロック対抗戦			開催中止		
平成 23 年度関東女子大学対抗チャレンジカップ			開催延期 *		
平成 23 年度関東学生ゴルフ連盟 6 月月例会			開催中止		
第 34 回全国女子大学ゴルフ対抗戦	6 月 1 日(水)	6 月 15 日(水)	6 月 16 日(木) ～ 17 日(金)	オークウッドゴルフクラブ (北海道)	
第 49 回関東女子学生ゴルフ選手権予選会	6 月 16 日(木)	6 月 30 日(木)	7 月 1 日(金)	CPG カントリークラブ	
第 49 回関東女子学生ゴルフ選手権	7 月 15 日(金)	8 月 8 日(月)	8 月 9 日(火) ～ 11 日(木)	狭山ゴルフ・クラブ	
2011 ユニバーシアード(中国・深圳)	6 月 20 日(月)	—	8 月 17 日(水) ～ 20 日(土)	ミッションヒルズゴルフクラブ	
2011 年度(第 48 回)日本女子学生ゴルフ選手権競技	8 月 15 日(月)	—	8 月 24 日(水) ～ 26 日(金)	スリーレイクスカントリークラブ	
2011 TOPY CUP 日米大学対抗ゴルフ選手権	—	9 月 5 日(月)	9 月 6 日(火) ～ 8 日(木)	棚倉田舎倶楽部	
平成 23 年度関東学生ゴルフ連盟 9 月月例会	8 月 25 日(木)	9 月 8 日(木)	9 月 9 日(金)	新・ユアイゴルフクラブ	
平成 23 年度関東女子大学秋季 A・B・C ブロック対抗戦	8 月 31 日(水)	9 月 14 日(水)	9 月 15 日(木) ～ 16 日(金)	真名カントリークラブ ・真名ゲーリープレーヤーコース	
第 14 回朝日杯争奪日本女子学生ゴルフ選手権関東地区予選会	9 月 21 日(水)	10 月 5 日(水)	10 月 6 日(木)	サザンヤードカントリークラブ	
平成 23 年度関東学生ゴルフ連盟 10 月月例会	9 月 29 日(木)	10 月 13 日(木)	10 月 14 日(金)	フレンドシップカントリークラブ	
第 12 回信夫杯争奪日本女子大学ゴルフ対抗戦	10 月 7 日(金)	10 月 24 日(月)	10 月 25 日(火) ～ 26 日(水)	千葉カントリークラブ ・梅郷コース	
第 14 回朝日杯争奪日本女子学生ゴルフ選手権	10 月 7 日(金)	10 月 24 日(月)	10 月 27 日(木) ～ 28 日(金)	千葉カントリークラブ ・梅郷コース	
平成 23 年度関東学生ゴルフ連盟 11 月月例会	10 月 18 日(火)	11 月 1 日(火)	11 月 2 日(水)	新・ユアイゴルフクラブ	
第 47 回会長杯争奪関東女子学生ゴルフ選手権	10 月 31 日(月)	11 月 14 日(月)	11 月 15 日(火)	静ヒルズカントリークラブ	
文部科学大臣杯争奪第 4 回全日本大学・高等学校ゴルフ対抗戦	11 月 4 日(金)	11 月 21 日(月)	11 月 22 日(火) ～ 23 日(水・祝)	未定(関西地区開催予定)	

※ 競技日程、競技会場は変更する場合があります。変更があった場合にはその都度ご連絡いたします。

関東学生ゴルフ連盟 平成 23 年度競技委員長 内藤喜孝(中央学院大学)



**あずま かおり
東 香里さん (同志社大学④) が大学の部の最優秀賞に輝く
高野 隆君 (東京大学③) らに優秀賞
高校生の部は福田 真未さん (福岡・沖学園高③) に**

2010年度のJGAアカデミック・ゴルフ・アワードの受賞者は去る3月、主催者の日本ゴルフ協会から高校生、大学生各部門それぞれの入賞者が発表された。高校の部最優秀賞は福岡・沖学園高校3年生の福田真未さん、大学の部は同志社大学4年生の東香里さんだった。本年度は3月25日、東京で行う予定だった表彰式は、3月11日に発生した東日本大震災の被害を考慮して開催を見送った。高校、大学各部の最優秀賞及び受賞者は別幅の通り。

JGAアカデミック・ゴルフ・アワードは毎年、日本ゴルフ協会の主催で行なわれる文化事業で、社会人として、ゴルファーとして日本の将来を担う若人を対象に、作文を広く募集し、併せてゴルフ技術、学業、人間性、ゴルフ界の貢献活動など総合的に優れた学生ゴルファーと、そのゴルファーを育てたゴルフ部を厳正な審査を経て選び表彰するもので、学生ゴルフの健全な発展に寄与することを目的としている。従来、この事業はゴルフ用品メーカーのアクシネット ジャパン インク《タリスト》社が主催していたが、現在は同社に代わって日本ゴルフ協会の主催している。大学の部、東さんの最優秀作品と高野君、大堀薫君の優秀作品を紹介します。

2010年度 JGA アカデミック・ゴルフ・アワード 受賞者一覧

大学生の部

最優秀賞	東 香里	同志社大学 4年
優秀賞	高野 隆	東京大学 3年
優秀賞	大堀 薫	大阪学院大学 3年
奨励賞	櫻井 将大	中央学院大学 3年
奨励賞	杉山 沙羅紗	慶應義塾大学 3年
奨励賞	橋添 南	明治大学 4年

高校生の部

最優秀賞	福田 真未	沖学園高等学校 3年
優秀賞	出水田 大二郎	樟南高等学校 3年
優秀賞	夫馬 菜月	美濃加茂高等学校 3年
奨励賞	佐藤 大平	水城高等学校 2年
奨励賞	成田 美寿々	拓殖大学紅陵高等学校 3年

2010 JGAアカデミック・ゴルフ・アワード最優秀賞受賞

大学生活で得たもの

同志社大学 東 香里

ここ最近のゴルフ界はジュニア世代に牽引されていると言っても過言ではない状況である。それは、ジュニア時代から育ち今現在プロの世界で活躍している選手への強い憧れやゴルフ環境の変化が原因として挙げられる。また、高等学校を卒業後に大学進学せずに、プロテストやクオリファイを受け、プロのステージに立とうとする選手が増えたこともプロの年齢が低下したことに関係しているのではないか。そこで私は大学進学者が年々減少していることに不安を感じている。私が大学進学した理由は私の世界を広げるためである。高校生活を過ごしていく中で、ふとした時に自分の世界の小ささを感じたことがある。

まだ自分は何も知らない状態であり、もっと世界を広げるために大学に行きたいと思うようになったのである。

まず初めに大学入学後は高校で学んだことは全く違う勉強を学び、知識の面で自分の世界を広げることができたのである。第二にゴルフでは高校時代よりもたくさんの試合があり、日本国内だけでなく世界中のゴルフ場でプレーさせて頂き、また部活動に所属したことにより、今まで無かった団体戦への挑戦、その団体戦の難しさを感じることができ、ゴルフ経験においても世界を広げることができた。最後に「人との出会い」によって私の世界は大きく変わったと言ってもいい。この出会いとは大学友達や部活動の仲間、全国の大

学生ゴルファーだけではなく、ゴルフ部のOBさんやアルバイト先のお客さんなど、年齢を問わず本当にたくさんの人と出会うことができた。これは全て自分が大学でゴルフをしていたからこそ出会えた人達であり、していなければ出会えなかった人達もある。その人達に出会えたことによって、自分の考え方方が変わったり、モノの見方が変わったりと内面的な部分で変わることができたのである。

私は今年で大学を卒業し、自分の目指した道へと進むが、この進路でかなり迷った時期があった。それは就職するかプロの世界を目指すか決断を迫られている時だった。そんな時に私の背中を押してくれたのは大学進学したことによって出会えた人達の言葉であった。優しい言葉や厳しい言葉など、人それぞれはあるがどの言葉にも私の事を応援してくれているということが痛いほどに伝わってきた。

最初、大学に入学したときは大きな不安を抱えた中で自分の思うように練習できないことに対する不満がたくさんあったが、卒業を控えた今はたくさんの事を学び、経験し、たくさんの人にお会わせてくれた大学生活に感謝の気持ちでいっぱいである。

もし、これから進路で迷っている人がいれば、ぜひ大学に進学してほしい。自分のゴルフの世界を広げるだけでなく、人間的にも社会的にも成長できる場が大学生活であると私は思う。

2010 JGAアカデミック・ゴルフ・アワード優秀賞受賞

ジュニアを取り巻くゴルフの環境

東京大学教養学部 高野 隆

現在ジュニアゴルファーを取り巻く環境は、存分にゴルフできるほどになっているだろうか。この問い合わせに対して、完全ではないが、大きく前進しているといえる。

私がゴルフを始めたのはおよそ20年前だが、当時は子供がゴルフをすること自体批判されるような風潮が存在した。一部のゴルフ場はプレー自体に年齢制限を設けていたし、仮にしていなかったとしても、金持ちのボンボンがという目線を浴びせられていた。確かに未だそのような空気は完全に払拭されているとは言い難いし、ゴルフをする家庭には少なからぬ金銭的な負担を強いられることには違いないだろう。

しかし、近年明らかにその風潮は変わりつつある。多くのゴルフ場がジュニア料金として格安の値段を設定してくださるようになり、18歳以下のゴルフ場利用税は撤廃され、コースへ出るハードルは大きく下がった。ジュニアの大会が次々に整備され、スポーツとしてゴルフをするということがさほど珍しくなくなった。その結果石川遼選手や宮里藍選手のような若手のスターが登場してきた。私も90年代から00年代とゴルフをさせてもらい、その変化を感じた。まだ子供に対する風当たりの強い時代から私たち子供にプレーをさせてください、ジュニアゴルフの環境整備に努めてくださった方々には本当に感謝の念を抑えきれない。

しかしその一方で、まだまだサッカーや野球のように、普通の子供たちが当たり前のようにゴルフをする、という環境には至っていない。都会にはゴルフが出来るような広場はなく、どうしても練習場に行くしかない。どうしても何千円かかるし、移動だけでも時間はかかってしまう。コースもやはり車で1時間以上かかる郊外まで行ってするほかなく、そういう負担に対する課題もまだまだ残っている。

そういった点で、大きく前進してはいるが、まだまだ完全とは言い切れないものである。

しかしそれでも、かつての環境とは雲泥の差といえる。これからも金銭面に加え、学校にゴルフ道具を寄贈し、体育の授業でゴルフを取り上げてもらう、プロトーナメント会場では観客の方々にアトラクションでゴルフを体験してもらうなどといった地道な努力を続けていけば、誰もが気兼ねなくゴルフが出来る普遍的な、生活に根ざしたスポーツになる日もそう遠いことではないだろう。

私は実家に帰るたびに父や、もう八〇歳になる祖父たちとプレーする。ゴルフは、屈強な若者からお年寄り、女性に子供とあらゆる年代、性別の人々が同時に、同じ空間を共有できる、素晴らしいスポーツである。この喜びをより多くの人々と共有していくために、これからもゴルフ界が一致団結し、協力してほしいものである。



2010 JGAアカデミック・ゴルフ・アワード優秀賞受賞

私にとってのゴルフとは

大阪学院大学経営学部 大堀 薫

私のゴルフとの出会いは、小学校5年生の時に坂田塾に入塾したことがきっかけでした。高校では、女子が2名という部員環境だったので、自分ひとり個人としての練習が中心となっていました。そして、大阪学院大学に入学して、大勢の部員や厳しい上下関係のある環境になり、時には人間関係やチームワークの大切さがわからず、練習に集中することが出来ない程悩んだこともあります。また、初めての団体戦ではチームの足を引っ張る成績を残してしまい、個人戦においてもなかなか成績を残すことが出来ず、自己嫌悪の日々を過ごしていました。その時、自分自身を振り返りその原因を自分なりに考えてみると、4人兄弟の3番目といういつも兄弟に頼ってしまう性格の甘さ、パワーのなさ、集中力の乏しさに気付きました。そこで、自分の中でなんとしても結果を出さなければと、自らを追い込み、筋力トレーニング、そして、一番苦手だったバンカーショットを毎日毎日繰り返し練習しました。今春からは、弟を含め大勢の新入生が入部して、昨年までとは全く違った練習環境となった中、私は積極的に男子部員に混じって厳しい練習に励み忍耐が身に付いたと思います。また精神面ではヨガを取り入れ、集中力そして冷静は判断力を養い、大学の先輩でもある兄に、技術面だけでなく、人として柔軟な心を持ち続けることの大切さを学びました。

そして、3年生になって最初の試合である「関西学生女子連盟杯」を優勝することが出来ました。

これは、私のゴルフ人生で初めてのタイトルであり、自分にとって大きな自信となりました。そして、次は「関西女子アマ優勝」「日本女子アマベスト8」と目標を掲げ臨みましたが、試合結果は一打及ばず「日本女子アマ」にも進出出来ませんでした。「優勝する!!」という意気込みだけで、周りに気を取られていた自分に気がつき、この試合での悔しさや、

一打の重みを感じたことが、先人である球聖ボビー・ジョーンズの「ゴルフで戦うのはオールドマン・パーとプレイヤー自身のふたりだけ」との言葉の意味を自分なりに考える機会となり、少し理解することが出来たと思います。また、この言葉を初めて感じることが出来たお陰でより深く毎日の練習に励むことが出来、そしてずっと私を支えて下さっている監督、コーチ、お世話になってきた方々の温かい激励の言葉が心に沁み、私に力を与えてくれ、より一層目の色を変えて練習に取り組みました。

その結果、「関西女子学生」で7位となり、「日本女子学生」へ進出することが出来ました。「日本女子学生」は、例年ない記録的な猛暑で集中力を失う暑さの中でのプレーでしたが、オールドマン・パーと自分自身との戦いだと思い、最後まで諦めない心で自分のゴルフに集中しようと誓いながらプレーをした結果、学生ゴルフで最も大きなタイトルである「日本女子学生」を優勝することが出来ました。大学生の私にとってこの優勝は大きな財産であり、今後の指針となるものでした。また、昨年は、「サントリーレディースオープン」、「日本女子オープン」にも出場させて頂き、プロの世界の厳しさを知り、プレー以外にも貴重な勉強となりました。

今年は、プロテストを受験します。夢に向かってのこの10年間、両親はもちろん、監督、コーチを始め大勢の方々、そしていつも共に切磋琢磨してきた友のお陰で色々なことを乗り越えることが出来ました。この感謝の気持ちを忘れず、必ず恩返しが出来るようにこれからも頑張っていきたいと思います。そして、ゴルフという深い競技を通じて、人として学び得た機微を忘れず、夢と希望を持ち、大好きなゴルフをどこまでも自分を信じ進んでいきたいと思います。



**重いスチールが体力的に
厳しくなってきたという方**

GS95 アイアン用: テーパー・バラル / S200, R300 /
40.0~36.5インチ / 101~103g / 先調子

**軽量スチールか、カーボンか?
迷っている方**

GS85 アイアン用: テーパー・バラル / S200, R300 /
40.0~36.5インチ / 93~94g / 先調子

**カーボンシャフトで距離のばらつき、
方向性に問題がある方**

GS75 アイアン用: バラル / S200, R300 /
40.0インチ / 86~88g / 先調子

あなたに最適な軽量スチールシャフト

ゴールド・シリーズ

Gold series

自分の体力や年齢、そしてプレースタイルに応じて柔軟に対応できる三種類の軽量スチールシャフトが揃いました。すべてのゴルファーに楽しさと幸せを届けるスマイルシングシャフトです。

平成 22 年度日本学生ゴルフ連盟理事会議事録

議事録作成者：事務局長 茂住アリ沙

- 日 時 平成 23 年 2 月 19 日 (土) 12:30 ~ 14:10
- 場 所 東京ドームホテル 42 階「ペガサス」の間
- 出 席 松本会長、中島、安井、各副会長、杉浦、阿部、森岡、田口、野村、阪田、高木 (洋)、各常任理事、岡村、高木 (邦)、泉、十代田、各理事、高委員長、福地、中本、寺田、粟村、藤松、各副委員長、内藤競技委員長、小沼、春田、植村、小澤、各副競技委員長、茂住事務局長・会計局長、本村、毛利、各事務局員

議事に入る前に、松本会長、高委員長より挨拶があり、平成 23 年度学生役員の紹介があった。

松本会長を議長とし、議事に入った。

松本会長はこの理事会の議事録署名人に関東地区の中島副会長と関西地区の阪田常任理事を指名した。

議案・決議事項

第 1 号議案 平成 22 年度の活動報告

高委員長より下記の通り報告があった。

6 月 8 日から 4 日間「第 13 回世界大学ゴルフ選手権」がスペイン・マラガのアンテケラゴルフクラブで開催。男子は日本大学の大田和桂介君、東北福祉大学の藤本佳則君、富村真治君、松山英樹君、女子は同志社大学の東香里さん、日本大学の志賀友香さん、東北福祉大学の岩周里紗さんが出場。結果は男子が団体準優勝、個人最高位は藤本君の 4 位。女子団体 7 位、個人最高位は岩周さんの 19 位。

6 月 17 日から 3 日間オークウッドゴルフクラブで開催された「第 47 回全国大学ゴルフ対抗戦」ならびに「第 33 回全国女子大学ゴルフ対抗戦」は、男子は日本大学が 2 年連続 33 回目の優勝、女子は名古屋商科大学が 3 年振り 2 度目の優勝。今大会は世界アマチュアランクの対象競技として、男子のみ 1 日 18 ホール、3 日間 54 ホール・ストロークプレーで行った。最優秀選手は男子が東北福祉大学の藤本佳則君、東海大学九州校の嘉数光倫君が 213 ストロークで、女子は立命館大学の園田絵里子さん、大阪学院大学の中井美有さんが 148 ストロークでそれぞれ獲得した。

8 月 24 日から 4 日間「第 64 回日本学生ゴルフ選手権」、8 月 25 日から 3 日間「第 47 回日本女子学生ゴルフ選手権」が城陽カントリー倶楽部で開催。男子は明治大学の櫻井勝之君、女子は大阪学院大学の大堀薰さんが優勝。

9 月 10 日から 2 日間、棚倉田舎倶楽部において「2010 TOPY CUP 日米大学対抗ゴルフ選手権」を開催。3 日間の予定で行われる本大会だが、台風の影響により 2 日間 54 ホール・ストロークプレーに変更。大会初日を 36 ホール、最終日を 18 ホールとした。男子は東北福祉大学、女子はアリゾナ大学が優勝。個人戦は東北福祉大学 3 年の藤本佳則君が個人 3 連覇を達成、女子はアリゾナ大学のイザベル・ブエノさんが優勝。

11 月 9 日から 2 日間、千葉カントリークラブ・梅郷コースにて「第 54 回信夫杯争奪日本大学ゴルフ対抗戦」、「第 11 回信夫杯争奪日本女子大学ゴルフ対抗戦」が開催。前年は新型インフルエンザの発生により競技を中止したため、回数を変えずに開催。男子は東北福祉大学が 7 大会連続 10 度目の優勝。女子は名古屋商科大学が 2 大会連続 2 度目の優勝を飾った。

同 11 日から 2 日間、信夫杯と同一コースにて「第 57 回朝日杯争奪日本学生ゴルフ選手権」、「第 13 回朝日杯争奪日本女子学生ゴルフ選手権」を開催。当初、世界アマチュアランクの対象競技だったが、11 月 9 日に行われた常任理事会でプレーの遅延と日没の心配を理由に従来通り 1 日 18 ホール、2 日間計 36 ホール・ストロークプレーで開催。男子は東北福祉大学の藤本佳則君、富村真治君、久我悠太郎君が 141 ストロークで並び、8 大会ぶりのプレー。プレー 1 ホール目、富村君のバーディーが優勝決定。女子は終始安定したプレーをした大阪学院大学の大堀薰さんが日本女子学生選手権に続くタイトルを獲得。

同 22 日から 2 日間「文部科学大臣杯争奪第 3 回全日本大学・高等学校ゴルフ対抗戦」が那須野ヶ原カントリークラブにて開催され、悪天候に見舞われた。文部科学大臣杯も当初 54 ホールの予定だったが、コース側との話し合いにより、時間的に 1 日 27 ホールを消化できないと判断、36 ホール・ストロークプレーで行った。団体戦は初日高校がリー

ドしたが、最終日に大学勢が奮起し、21打差をつけ2大会連続の勝利。個人戦は男子が東北福祉大学の塙見好輝君と鹿島学園高校の副田裕斗君が137ストロークで並んだが、マッチングスコアカード方式により塙見君の優勝が決定。女子は2日間安定したゴルフをみせた本部高校の比嘉真美子さんが優勝した。

学生役員として目についたのは、プレーが遅いこと。4人1組でハーフ2時間10分が理想だが、それをオーバーする2時間40分から3時間ペース。巡回を出して注意を促しても、その場はきびきびとした行動をするものの、目が届かなくなれば、再び行動が遅くなる。学生役員を増員するにも同じ学生の立場であるため、学業を優先しなければならず、増員も難しい状況で、解決策を見出せない点が今後の検討課題。

第2号議案 平成23年度 活動計画

内藤競技委員長より説明があった。

例年通り、国内競技が6月の「全国大学対抗戦」「全国女子大学対抗戦」、8月に「日本学生選手権」「日本女子学生選手権」、9月に「TOPY CUP 日米大学対抗選手権」、10月「信夫杯争奪日本大学対抗戦」「信夫杯争奪日本女子大学対抗戦」、「朝日杯争奪日本学生選手権」「朝日杯争奪日本女子学生選手権」、11月の「文部科学大臣杯争奪全日本大学・高等学校ゴルフ対抗戦」をそれぞれ開催の予定。

2007年以来、2度目の出場となる「ユニバーシアード競技大会」が中国にあるミッションヒルズゴルフクラブにて8月17日より4日間開催。選手選考について松本会長より説明があった。

平成22年度から世界アマチュアランキングへ本格参入したが、時期的な問題や開催コースとの兼ね合いもあり、再度対象競技を検討。「日本学生選手権」「TOPY CUP 日米大学対抗選手権」の2競技のみをランキング対象競技とすることになった。また女子の世界アマチュアランキングが始まり、男子同様「日本女子学生選手権」「TOPY CUP 日米大学対抗選手権」をランキング対象競技とすることにした。

連盟加盟員は、各地区連盟の努力もあり平成21年度より82人増え、1,995人であった。

競技出場に当たり服装規定を確認せずにコースに来場する学生が未だいる。学生役員が選手の模範となる学生ゴルファーらしい服装を心かけ、選手にも順守させたい。

第3号議案 平成22年度 決算報告

会計事務担当の本村氏より報告があった。

当期の収入合計は15,699千円、支出の合計15,665千円で当期の収支は34千円の余剰となった。

平成22年9月末現在の各地区加盟人数の合計が1,995人で、21年度より82人の増加。加盟校数は前年度より12校減少し全地区合計で154校。

収入合計は各地区分担金、エントリー費などで当初予算より16千円のプラス。支出では競技会費用が予算より43千円少ない支出で済んだ。一般活動費は、旅費交通費が臨時常任理事会の開催などもあって予算を451千円オーバーした。準備金繰り入れでは、平成24年の世界大学がチェコで開催されるが遠方でもあり計画より100千円増やした。

第4号議案 平成23年度 予算案

引き続き、本村氏より報告があった。

収入については、各地区分担金は前年度の実績額をそのまま今年度予算額として計上。エントリー費は一昨年から学生の負担軽減措置として団体戦と個人戦の一部についてのエントリー費減額を本年度も継続する。雑収入を加えた収入の合計は13,140千円。

支出については、競技会費用で8月に中国・深圳でユニバーシアード大会が開催されその諸費用として500千円を見込んだ。その他の競技会は昨年実績と從来実績を踏まえての予算計上。事務所維持費と通信費、顧問料とも、今年度、特別な支出予定はなく支出合計は13,133千円で、ほぼ収支同額の予算案になっている。

第5号議案 規約改正

引き続き、本村氏より報告があった。

当連盟は学生スポーツ団体のため「文武両道」を基本に活動を行っているが、連盟規約にはこの基本を明記した条文がないため、連盟の基本理念をどのように規約に織り込んだら良いかを検討した結果、第2章「目的および活動」の一部改正を提案。第3条の「目的に関する条文」を『本連盟は、学生スポーツの本文である「学業とゴルフの両立」「質実剛健」「眞のスポーツマンシップ」を基本理念として、ゴルフを通じて加盟員の人間形成、体位向上、および構成地区学生ゴルフ連盟ならびに加盟校・加盟員間の交流促進を図ることをもってその目的とする。』と連盟の基本理念を明確に示すことにした。第4条「目的を達成するための活動」の第2項には『ゴルフの科学・技術・ルールおよび

エチケットなどに関する研究』となっている。研究した結果の正しい知識を人々に与え、ものの道理が解るように導くことこそが連盟としての活動なので『ゴルフのエチケット、ルール、技術に関する研究ならびに啓蒙』と啓蒙という言葉を加えた。

第27条の附則は、今回の一部改正を記録に残すためのもの。

第6号議案 任期満了に伴う会長推薦

第6号議案は日本学生ゴルフ連盟規約第9条第1項による任期満了となる「会長選出」のため、仮議長に中島副会長を選任。

松本会長は平成15年以来4期8年に亘り会長を務めているが、当連盟の会長は、高ゴ連と連携を図りつつ、JGAを含めた3団体との橋渡しとともにその活動は当連盟に留まらず、外部団体をも含む学生ゴルフ界全般に及んでいる。学生ゴルフ界が変遷期に当たっている状況であり、経験豊富な松本氏を全員一致で引き続き会長に推薦することになった。

その他一般議題

《プロテスト・QTの受験規制見直し》

松本会長より説明。現在、4年生に限りプロテストは資格として、QTは就職活動の一環として受験を認めている。JGAでもプロの登録をしない限りはアマチュアとしてやっていいける。こうした背景ではあるものの、関東で2年続けて問題があり、より規制をしたいと中島副会長より提案。学生ゴルフ連盟はプロ養成所ではなく文武両道が基本の部活動。過去に違反者も出ており、今後全国で足並みを揃えて規則を決めていきたい。案として、在学中のプロテスト受験は一切禁止、QTについては4年生の受験を認めるが、エントリーの時点において卒業見込みが出ている者としたい。ただし、現在、在籍する連盟員の適応は難しいと思われる所以、3年先をめど（平成26年度より適用）に各地区でも検討願いたい。

阿部常任理事より、女子も受験シード保有期間を1年から5年にして欲しいとLPGAに対し再三申請したが、了承を得ない状況。プロになるには覚悟が必要。今後も時代にあった政策を求め続ける。

松本会長より、今回の提案は強制ではないが、今後足並みを揃えていく必要もある。

《大会出場日数規定について》

松本会長より説明。高等学校ゴルフ連盟では、現在年間出場可能試合を5試合、16日間と定めている。しかし、対象外とする競技が多数ある。学生連盟としては、年間出場試合日数を5試合、20日間とし、対象競技、対象外競技については事務局より通達する。通達文書の他に各地区での試合について質問があれば事務局に問い合わせる。

プロトーナメントの出場については3試合までに制限する。

《平成23年度主催・後援競技方法変更について》

事務局毛利氏より、説明があった。

世界アマチュアランキングの対象としていた競技をプレーの遅延、開催時期を考え、従来通りにする。

「全国大学ゴルフ対抗戦」…競技方法：1日18ホール、2日間計36ホールストロークプレーとする。

「日本学生ゴルフ選手権」…出場人数：男子98名、女子48名の合計146名とする。

「朝日杯争奪日本学生ゴルフ選手権」…競技方法：1日18ホール、2日間計36ホールストロークプレーとする。出場人数は日本学生ゴルフ選手権と同数とする。

「文部科学大臣杯争奪全日本大学・高等学校ゴルフ対抗戦」…競技方法：1日18ホール、2日間計36ホールストロークプレーとする。

阿部常任理事より、日本学生選手権、朝日杯の各地区出場人数枠はどのように決めるのかとの質問があった。事務局毛利より、過去5年間分の出場者数、予選通過者数を加味し、人数を決定すること。

泉理事より、日本学生選手権、日本女子学生選手権は同じ会場で1日目は男子だけだが2日目からは女子が入ってくるため、競技運営上に問題が出てくる。女子の参加人数を減らし、調整いただきたいと要望があった。

《ユニバーシアード競技大会出場候補選手選出》

男子は候補選手を5人選出、女子候補選手は、選考会をもって決定する予定。

以上、議事を終了したので、松本会長は閉会を宣した。

平成22年度第3回関東学生ゴルフ連盟理事会議事録

議事録作成者：事務局長 茂住ア莉沙

●日 時	平成23年3月7日(月) 18:20~20:10
●場 所	関東学生ゴルフ連盟事務所内 8階会議室
●出 席	中島会長、森岡、黒須、堀切、各常任理事、角田、勝又、久保田、新保、菅、山野井、各理事、山口幹事、高委員長、石川副委員長、茂住事務局長、本村、毛利、各事務局員 (順不同)

議議事に入る前に、中島会長より挨拶があった。

続いて高委員長の挨拶と本日出席の学生役員の紹介があった。

中島会長を議長とし、議事に入った。

議案・決議事項

第1号議案 平成22年度 活動報告

高委員長より報告。

平成22年度関東学生ゴルフ連盟主催競技は男子20競技、女子14競技の計34競技が行われた。

世界アマチュアランク制度の本格的な導入により、男子の競技会において競技方法の変更があった。

春季／秋季C・D・E・Fブロックは1日27ホール、2日間計54ホール・ストロークプレーで行い、日没サスペンションにならなかったものの、表彰式、閉会式の時間にも影響し、コースの営業時間を延長することになりコース側に迷惑をかけた。

秋季A・Bブロックは1日18ホール、3日間計54ホール・ストロークプレーで行ったが遅延プレーが目立ち、こちらもコース側に迷惑をかけた。

関東学生ゴルフ選手権はマッチプレーを廃止し4日間の72ホール・ストロークプレーで開催。猛暑ということもあって途中棄権者が5人もいたが、悪条件にもかかわらず、東北福祉大学3年の藤本佳則君が大健闘し4日間アンダーパーのスコアで回る276ストロークで2年連続優勝。チャレンジカップでは再加盟の東京国際大学と新規加盟をした東日本国際大学が優勝、準優勝し、昇格した秋季Fブロック対抗戦でも同じく優勝、準優勝した。

ゴルフプレーの向上とともに学生の本分である学業もおろそかにしないよう「文武両道」を常に心がけ、部活動、連盟活動に取り組むことを心がける。競技会では服装の問題が未だに解決せず、規程を順守しない者が数名。失格者を出すことはなかったが、一人ひとりが規程に目を通し、注意出来る環境作りが肝要である。

プロテスト・QTの受験規制を守らなかったため、秋季Bブロック対抗戦に出場できなくなって、競技規程が不明確ではないかと連盟サイドへ抗議があった。これも競技規程に目を通していなかった本人の問題もあるが、連盟としては規程を解りやすく改正することにした。

昨年7月と12月には新人研修会を行った。講師を嶋谷理事にお願いし「ゴルフの歴史」や「学生連盟とプレーヤー」、「人生と大学課外活動（部活動）」について有意義な講義を受けられた。

今年度の加盟人数は967人で平成21年度より46人増え、加盟校数も前年より1校増えた70校であった。

第2号議案 平成23年度 活動計画

石川副委員長より報告。

平成23年度の関東学生ゴルフ連盟主催競技は男子18競技、女子13競技の計31競技を開催予定。全国大学ゴルフ対抗戦関東地区予選会とピザーラカップが廃止になった。

平成23年度は世界アマチュアランク制度対象競技を見直し、団体戦は全て対象競技から外すこととした。これは競技方法を変更したことにより、監督をはじめ、選手から見直し要求が多数あげられたこともあり、従来の競技方法に戻したもの。

また、シード方法に若干変更はあるが、競技方法変更によるもので人数は従来とほぼ同数になっている。

昨年から実施している新人研修会についても早い段階で1回目を開催したい。

競技会における服装について、事前ユニフォーム登録を試験的に行う。すでに2月の主将・主務会議で用紙を配布し、春季ブロックリーグ戦、対抗戦前までに提出するよう依頼した。

第3号議案 平成22年度 決算報告

本村事務局員より報告。

当期の収入合計 25,820千円、支出合計 24,882千円で収支は937千円の余剰となった。

学校加盟は新規3校、脱退2校、前年より1校増えて70校に、別に個人加盟は6校でした、継続加盟人数は615人、新規加盟人数が352人で合計967人であった。

会費収入とその他を合わせた収入合計は25,820千円だった。

支出では、連盟として初めて実施した新人研修会の参加記念でマーカー・グリーンホークのセットを配布し、パソコン2台の買い替えなどで一般活動費が大幅に予算をオーバーしたが、競技会費用の支出が少なかったこともあって支出合計は24,882千円になった。

引き続き山口監事より監査報告について、計算書類、附属明細書類などは適正であるとの報告があった。

第4号議案 平成23年度 予算案

引き続き、本村事務局員より説明。

収入では、学校加盟は前年度と同じ70校、加盟人数は継続加盟が615人、新規加盟は352人と前年度と同人数の合計967人を見込み、会費収入は24,964千円で計上、雑収入を含めた収入合計は24,987千円の予算とした。

支出は、各科目とも前年度の実績を勘案しながらの見込みとなっており、支出合計24,935千円で計上、52千円の余剰見込み。

第5号議案 規約・競技規程改正

本村事務局員より報告。

学生連盟は、「文武両道」を基本に活動しているが、連盟規約に明記している条文がないため、今回連盟規約に織り込むことにした。

毛利事務局員より競技規程の改正について説明。

平成22年度から世界アマチュアランク制度へ本格参入したが、時期的な問題や開催コースとの兼ね合いもあり対象競技の見直しを行い、団体戦は世界アマチュアランク制度対象競技としないことにするとともに、平成22年度に変更した競技方法を従来の方法に戻すことになった。また、関東女子学生選手権もマッチプレーを廃止することにした。

第6号議案 任期満了に伴う会長改選

高委員長を仮議長として議事が進行された。

審議の結果、全員一致で引き続き中島会長を理事会が推薦する会長候補として総会に上程することを決定。

その他一般議題

1) 日本学生ゴルフ連盟理事会開催報告

2月19日に日本学生ゴルフ連盟理事会が行われた議事内容を毛利事務局員が報告。競技は例年通り開催予定。全国大学対抗戦は3日間から2日間となり、1日18ホール、2日間計36ホール・ストロークプレー、朝日杯、文部科学大臣杯も2日間計36ホール・ストロークプレーに戻す。

8月には中国・深圳で「ユニバーシアード競技大会2011」が開催されるが男子4人、女子3人を代表として派遣する。

日本学生ゴルフ連盟でも世界アマチュアランク制度対象競技を見直し、日本学生選手権とトピーカップのみにした。女子も世界アマチュアランク制度が導入されるので、男子と同じ競技を対象競技として登録する予定。

日本学生ゴルフ連盟の決算報告、予算案についても問題なし。

日本学生ゴルフ連盟役員も任期満了となり、現会長の松本氏さが引き続き会長に決定。

日本学生・日本女子学生については、平成18年度から5年間、36ホールを有するコースで男女が分かれて競技を

していたが、平成 23 年度より JGA の方針で 18 ホールのコースで競技を開催することになったため、従来の男子 120 人、女子 60 人から、男子 98 人、女子 48 人の 146 人名とすることに決定。男女ともに予選を 2 日間行い、男子 50 位タイ、女子 25 位タイまでの選手が決勝ラウンドに進出。朝日杯については、従来の競技方法に戻し、1 日目の予選で男子 60 人、女子 33 人が決勝に進む。

関東地区の出場人数は男子 45 名、女子 19 名。出場人数枠の決め方は過去 5 年間の競技結果を基に出場者数、予選通過者数の割合を算出し各地区連盟に通達する。

2) 大会出場日数規制について

毛利事務局員より報告。

数年前より学生連盟と高ゴ連で協議が行われていた問題で、選手の中には競技中心の生活をしている学生や生徒がいることから、出場日数を制限することが必要であるとの考え方で一致、高ゴ連では平成 22 年度からスタートした。

学連は、学生連盟主催・後援競技、日本アマ等の JGA 主催・後援競技、関東アマ等の地区連盟主催競技は出場日数に含まず、プロトーナメントや新聞社・雑誌社の競技を規制対象競技として今年度より試験的に行いたい。大会出場競技規定数は 5 試合とし、日数も 20 日を超えない。プロトーナメントは年間 3 試合を上限とし、この 5 試合に含む。5 試合のカウントを取る方法として、大会出場日数に含まれる競技会に出場する場合は事前に連盟宛てへ「大会出場届け」を、競技終了後には「大会出場報告」を提出。現在、この件については各地区学生ゴルフ連盟で詳細を詰めている段階で、決まり次第再度報告予定。

例外として、JGA や各地区連盟の推薦によって出場するプロトーナメントの場合、JGA もしくは各地区連盟より、「■■君をこの競技に出場させます」といった内容の文書を提出して頂くよう話し合いを進める。あくまで規制対象となるのは自らがマンデー等に出場し、トーナメントへの出場権を得た場合に限る。

学生がプロトーナメントに出場する話はないが、やはり高校が一足先に大会出場日数規制をスタートさせていることを受け、大学側でも何らかの対策を取らなくてはならないということで、今年試験的に実施し、様子をみたい。

堀切理事よりこの規制は決定事項か。5 試合 20 日とは猶予期間であるのか。

毛利事務局員が 5 試合 20 日という方向でやっていくと考えていると回答。

黒須理事より、高等学校がクレームを受ける理由は、大学が準備できていない状態であるのにもかかわらず政策を進めてしまったため。

中島会長がクレームがきても「文武両道」、「質実剛健」という目標のために曲げる必要ないと回答した。

3) プロテスト・QT の受験規制について

中島会長より、プロテストは資格であるため受験は禁止し、QT は就職活動の一環として 4 年生のみ受験を認める。ただし、受験資格があるのは卒業見込み単位を 8 割以上（90 単位前後）取得している者とする。開始時期は平成 26 年 4 月の施行とし、準備を進める。

誰が受験しているのか学校側も学連側も把握する必要があり、今年より受験する者について事前に届け出を行うことを各校に伝達する。

学生連盟は JGA ナショナルチームにもできる限り協力するが、学業、学生競技優先を徹底する。社会に出ても逞しくやっていける学生を育成する。

黒須理事より、主将主務会議について 学生がより意見を出しやすい環境となるようにすべきである。年に 1、2 回でも良いので話し合える場を設けてみてはどうかとの提案があった。これについては学生役員と協議のうえ、実施する方向で動く。

以上、議事を終了したので、中島会長は閉会を宣した。



平成 23 年度関東学生ゴルフ連盟臨時理事会議事録

議事録作成者：事務局 毛利ちづる

●日 時	平成 23 年 4 月 1 日（金）18:15 ~ 19:45
●場 所	関東学生ゴルフ連盟事務所内 8 階会議室
●出 席	中島会長、森岡、木下、黒須、堀切、各常任理事、石井、勝又、久保田、菅、山野井、各理事、高委員長、石川副委員長、内藤競技委員長、茂住事務局長、本村事務局員、毛利事務局員

中島会長が議長となり、議事を進行した。

議題・決議事項

議題 関東学生ゴルフ連盟主催競技会開催について

3 月 11 日の東日本大震災による甚大な被災と同時に発生した福島第一原子力発電所事故により、連盟主催競技の環境悪化に伴う開催について臨時理事かを開き、競技開催などについて審議を行った。

4 月 22 日フレンドシップカントリークラブで開催を予定していた 4 月男女月例会は 3 月 25 日、中止を決定済み。

5 月の中旬からブロックリーグ戦、ブロック対抗戦などの団体戦や、関東学生予選会などの個人戦が予定されているが、競技会開催コースは、福島県、栃木県、茨城県にわたり、とくに福島第 1 原発の事故が環境や健康に影響を及ぼしている地域であることから、3 月いっぱい様子をみて好転していれば実施と決めていたが、いまだ終息の見通しが立てられない状況にある。

関東学生ゴルフ連盟は若い学生を預かっている競技団体であることを鑑み、下記の事項を協議した。

- ①危険と思われる場所での競技会開催はいかがなものか。
 - ②大学によっては卒業式や入学式を中止したり、原発に影響のある地域での活動を制限しているところもある。
 - ③原発事故の影響は、選手だけでなく、運営役員、監督、コーチ、応援者にも及ぶ危険性がある。
 - ④過去、競技会を中止した実例がある。平成 16 年、浅間山噴火により日本学生ゴルフ連盟主催の朝日杯・信夫杯を、また平成 21 年には新型インフルエンザ感染により信夫杯を中止しており、いずれも学生たちの安全面と健康面を考慮したうえでの措置であった。
- 以上の理由などにより、なによりも学生たちの安全面と健康面を最優先にすべきであるとの考えを確認し、一部の競技に付いて開催を中止することを決定した。

《中止、延期、コースの変更》

①中止する団体戦と個人戦

- ・春季 A・B ブロックリーグ戦
- ・春季 C・D、および E・F ブロック対抗戦
- ・春季女子 A・B・C ブロック対抗戦
- ・4 月に続き、5 月、6 月の男女月例会

②延期する団体戦

- ・男子・女子大学対抗チャレンジカップ
- ※ ブロックに属さない大学が年 1 回行う団体戦であり、中止してしまうと団体戦の機会が失ってしまうため

③会場を変更して開催する個人戦

- ・関東学生ゴルフ選手権予選会（第 1 会場）
- ・関東学生ゴルフ選手権予選会（第 2 会場）
- ・関東女子学生ゴルフ選手権予選会

※ 関東学生・関東女子学生に出場する選手の選考会を兼ねているため

④全国大学、女子大学ゴルフ対抗戦の出場校

本来は、男子春季A・Bブロックリーグ戦、女子春季Aブロック対抗戦の結果で出場校を選出していたが、中止に伴い次の通りに変更を決定

- ・男子…平成22年度秋季A・Bブロック対抗戦後の順位により、Aブロック1位から6位までの6校とする。
この6校の中で欠場が出た場合はBブロック1位校を繰り上げる
- ・女子…平成22年度秋季A・B・Cブロック対抗戦後の順位により、Aブロック1位から4位までの4校とする。
この4校の中で欠場が出た場合はAブロック5位校を繰り上げる

その他

- ・男女とも、平成22年度秋季ブロック対抗戦後の順位は、平成23年度秋季まで持ち越すとする
- ・4月9日（土）に行われる総会において第2号議案「平成23年度 活動計画」で上記事項をを説明し、総会での承認を得る
- ・例月会については、9月、10月、11月の3回になるため、通過人数を増やすなど対策を考える。
- ・本件に関し連盟事務局に外部からの問い合わせがあった場合、統一した返答内容を決める。回答として「4月から6月の競技会は学生の安全と健康を最優先し開催中止としました。7月以降の競技会については、状況をみた上で判断する」と回答。

以上、議事を終了したので、中島会長は閉会を宣した。

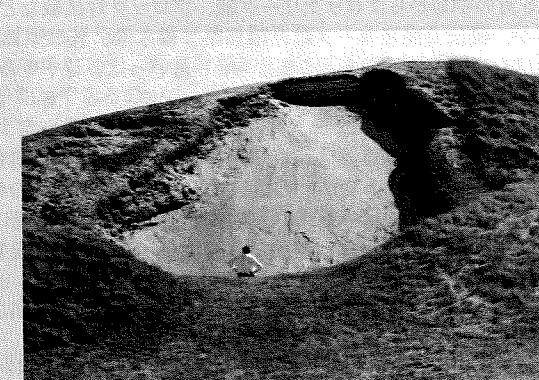


ゴルフ場の珍風景三題

所変われば風景も変わるが、東西古今のゴルフ場の珍風景を集めてみた。



1. 戦前、札幌にあった札幌ゴルフ倶楽部月寒のコースは1932（昭和7）年の創立。創設当初は資金難からハウスはなく、廃車になった鉄道の客車を代用した。北海道開拓史時代に走っていた鉄道の客車の払い下げを受け、コースの片隅に設置してハウス代わりに使った。



2. スコットランドにあるミュアフィールドのゴルフ場には洞穴のようなバンカーがあり、恐怖を誘う。まるで地獄ながら。入れてはならぬバンカーだ。



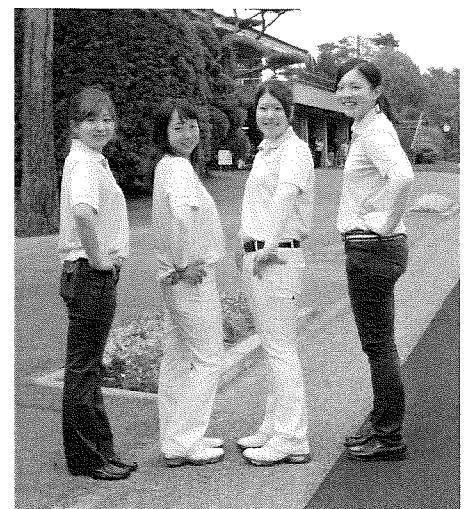
3. こちらはのんびりムードの風景。ロイヤル香港のゴルフ場。ティーから見通しのよくないホールのグリーン横には鐘がある。前の組がプレー中は打てない。パットを終わるとキャディが鐘を鳴らして後続組みに「OK」を知らせる仕組み。

加盟校便り



法政大学女子チーム 大健闘！

5月16～17日、千葉カントリークラブ野田コースで行われた関東女子アマチュアゴルフ選手権で、法政大学勢が大健闘した。直井梨瑛さん（法政大③）が9位タイ。柳澤美冴さん（同③）は19位タイの好成績を残し、両者は本年度の日本女子アマチュア選手権本選（6月21～25日・宝塚GC）の出場権を獲得した。2日間にわたるこの選手権の後半戦には法政大、日本体育大、立教大、日本大、駒澤大などの各校から出場した精鋭が活躍したが、4人が後半戦に勝ち残る法政大勢の元気のよさが目立った。ホームコースの競技になった直井さんは『コースを知っていること、ホームコースというプレッシャーは半々でした』といえ、柳澤さんは『この結果で団体戦に望みたいですね』と意気昂昂。法政大女子は昨年の信夫杯は3位、関東女子学生選手権で柳澤さんはメダリスト、直井さんとともにマッチプレーに進出する好成績を残している。



競技終了後、HOSEIのマーク入りお揃いのシャツ姿で勢ぞろいした法政大女子勢

FIDRA GOLF APPAREL

フィドラ青山店
東京都港区北青山3-11-7 Ao 4F
03-6427-9372

フィドラゴルファウトレット八ヶ岳
山梨県北杜市小淵沢4000番
八ヶ岳小淵沢リゾートアウトレットモール
0551-36-8233


FIDRA
www.fidragolf.jp

【編集後記】

■日本学生ゴルフ連盟
加盟校 154 校
創立 昭和 31 年 3 月 19 日
■関東学生ゴルフ連盟
加盟校 70 校
創立 昭和 10 年 2 月 2 日
(2010 年 9 月現在)

広報局からのお知らせとお願い
■関東学生ゴルフ連盟公式
ホームページは下記アドレスでご覧いただけます。
内容は競技日程、競技結果、
連盟のプロフィール、お知らせなどです。
<http://www.ksga.jp/>

■この機関誌に関するご意見、
ご感想、ご質問などなんでも結構です。

広報局までお寄せください。

■広報局からのお願いですが、機関誌をお受け取りになる方のお届け先が変更になった場合、すみやかに関東学生ゴルフ連盟の事務局にお知らせください。
電話は 03-3263-4377
FAX は 03-3263-4590

去る 3 月 11 日の大地震によってとくに東北地方は大きな被害を蒙りました。冒頭の表紙にも被害に遭った方々、災害を蒙った地域、その地域のあらゆる企業の方々に対するお見舞いの言葉を掲載しましたが、本当に心が痛む惨事でした。改めて亡くなつた方々のご冥福をお祈りいたします。

春の学生ゴルフ競技のいくつかは、こうした現状を鑑み、中止のやむなきに至りました。諸君のご理解を頂きたいものです。こうして暗いニュースが続いた直後、東北福祉大学の松山英樹君がマスターストーナメントでベストアマチュアに輝く快挙がありました。われわれ学生ゴルフ界のみならず、日本のゴルフ界、いや暗い世相に明るい一筋の光明を感じさせてくれました。この快挙を起爆剤に、学生ゴルフは文武両道の確立を定かなものにしようではありませんか。

さて、KSGA86 号をお届けします。予定されていた競技が中止になつたため、競技リポートは掲載されていません。新役員の紹介と本年度の抱負を語ってもらいました。

本号の巻頭言は中島敬夫・関東学生ゴルフ連盟会長にご執筆をお願いしました。マスターズで活躍した松山英樹君のニュースについてゴルフライターの小関洋一氏に特別寄稿を仰ぎました。わがゴルフ部については大東文化大学 OB の渡邊大氏に玉稿を寄せて頂きました。いよいよシーズン到来。加盟校諸君のご健闘を祈ります。勉学に、ゴルフに全知全靈を傾けましょう。

広報局長 光山 貴之（慶應義塾大学）

関東学生ゴルフ連盟
機関誌
2011/Vol.86

平成 23 年 5 月 31 日発行
(年 4 回発行)
発行人 中島 敬夫
編集人 光山 貴之
発 行 関東学生ゴルフ連盟
〒 101-0061
東京都千代田区三崎町 3-9-3
チヨダビル 4 階
電話 03-3263-4377
FAX 03-3263-4590
編 集 関東学生ゴルフ連盟広報局
D T P 森ゆり子

より遠くへ、より正確に。



NEW プロ V1・V1x 登場

Titleist
#1 ball in golf.[®]

titleist.co.jp

アクシネット ジャパン インク
(タイトリスト)